

### 市財政の 展望を問う

安田 真也

(問) 三位一体の改革の具体的な悪影響について。また、補助金等が減額される中、独自の税収確保の努力が必要と思うが。

(答)市長 三位一体の改革は、地方分権推進という趣旨だが、それに見合った税配分になっていない。当市では、3ヶ年で1億4千万円の削減。今後、財源の充実を要望する。また、税収確保については武操跡地周辺、東埼玉テクノポリス拡張に力を注ぎつつ、魅力や活力ある都市を造り、安定した財政基盤を作っていく。

### 地域防災計画について

(問) 相互応援協定をもっと広範な地域と結べないのか。

(答)市民生活部長 今後、機会があれば同時被災する確率が低い地域との締結を検討する。

(問) 災害時の議員の役割が、防災計画に無いが。

(答)市民生活部長 議員は地域の

リーダーの役割であるので、各地域でご協力をお願いしたい。

### 子育て支援について

(問) 昨年県で、地域子育て力・保育力ランキングを出したが。

(答)健康福祉部長 子育て力が32位。保育力が9位。

(問) チャイルドシートの貸出をして欲しいとの要望があるが。

(答)市民生活部長 交通安全母の会が貸出をしていたが、PL法施行で、安全性が確保出来ないため、現在は行っていない。

### 農業振興について

(問) 農産品を全国にPRすべきでは。

(答)市民生活部長 花菖蒲、吉川ねぎ等を全国にPRしたい。

### 都市計画税の 導入について

佐藤 清治

(問) 市長は9月議会に条例を提出すると明らかにした。

(答)市長は9月議会に条例を提出すると明らかにした。

課税世帯、税率ごとの影響額、最も影響を受ける方の税額、導入の検討にあたって市民の声はどう考えるのか。

(答)市長 その目的や必要性について市民のご理解をいただけるよう説明責任を果たすことが必要であると考えております。

(答)総務部長 平成19年度当初課税における固定資産税の課税デュータから試算しますと納税義務者は1万4809人、市で予定している税率が0・25%から0・2%ということでございますので、0・25%で設定した場合、税額が約5億7千2百万円、0・2%で設定した場合には約4億5千7百万円が見込まれます。

個人単位で税額が最高になる方につきましては、土地が約3万9700㎡、家屋が1400㎡所有している方で0・25%の場合、約409万円、0・2%の場合は327万円程になります。

一般的な住宅で、例えば、きよみ野二丁目あたりで建築年次が9年、土地が約150㎡、床面積が108㎡ぐらいの住宅で申し上げますと0・25%の場合1万8千8百円、0・2%の場合1万5千円となる見込みでございます。

### 学校体育館の整備は

(問) 具体的な改修計画を明らかにすべきではないか。

(答)教育部長 平成21年・22年で耐震診断を実施し、これを踏まえ、平成25年・26年・27年で7校の耐震補強を行っていきたいと考えております。

### 駅南二郷半水路跡地整備は

(問) 今後の整備の考え方は。

(答)都市建設部長 国の補助制度の研究や市の財政状況を踏まえながら整備を進めていきたい。

### 「入れ歯回収リサイクルボックス」 の設置を

小林 昭子

(問) 入れ歯の金具や詰め物、かぶせ物には、金銀パラジウム合金が多く含まれ、国連児童基金に寄付すると、入れ歯一つで毛布なら8枚、予防注射なら250人分を貧困で苦しむ世界の子どもたちに援助できるとされている。すでに全国29の自治体で

回収ボックスが設置されている。吉川市でもぜひ実施を。

### 市民バスの復活を求める

(問) 市民バス廃止後、外出に支障をきたして困っているという声が強くなる。木売地域では路線バスも無く、全く交通手段がない。高齢化に伴いこの問題は限界に達している。市民の知恵も生かして、市長として施策を講じるべきだ。

(答)市長 市としては、行財政改革推進プランに基づき市民バスを廃止した。市内路線バスの新たな計画により市内の交通手段



市役所に設置された入れ歯回収ボックス